

教育

私たちの心は神の栄光を現すことについて瞑想するように教育されるべきである。もし私たちの知的能力が神にささげられているなら、私たちの能力は向上し、さらに多くの能力を主にささげるようになる。私たちは人々に光を伝える経路となる。

(『今日の光～天上で』2021年第2期4月26日)

キリスト教教育は、教理、礼拝、教訓、交わり、伝道、奉仕などについて家庭や家族に教える取り組みです。

(『安息日学校聖書研究ガイド』2020年第4期12頁)

創造と救済の基礎となっている愛は、同時にまた真の教育の基礎でもある。このことは神が人生の指針としておあたえになった律法の中に明らかに示されている。

(『教育』5頁)

主こそがあらゆる真の知識の源なのですから、あらゆる真の教育、あらゆるキリスト教教育は、私たちの心を神と、ご自身に関する神の掲示へ向けなければなりません。

(『安息日学校聖書研究ガイド』2020年第4期1頁)

天は学校である。その研究の分野は宇宙であり、その教師は無限の神である。この学校の分校がエデンに設けられたのであった。救済の計画が成就されると、教育は再びエデンの学校にもどるのである。

(『教育』352頁)

子供にとって最初の教師は母親である。最も感受性が強く、最も進歩の早いこの期間における子供の教育は大部分母親の手に任されている。 (『教育』 324 頁)

すべての真の教育事業の中心は、神からつかわされた大教師イエスの中にある。……このような大教師イエスと、天来の教育の機会を前にしながら、イエスから離れた教育を求めることは——すなわち、知恵である神を離れて賢くなろうとしたり、真理を拒みながら真実であろうとしたり、光の源であるおかたからはなれて、照明を求めたり、生命である神をはなれて生存しようとしていたり、生ける水の泉であるお方からはなれて、水のたまらないこわれた桶を作ろうとしてみたり——すべてこうしたことは、愚かというよりももっと悪いことである。 (『教育』 84 頁)